

# 稲作情報

発行日：令和7年7月29日  
京都府山城南農業改良普及センター



## ～第4号～ 防除・水管理編

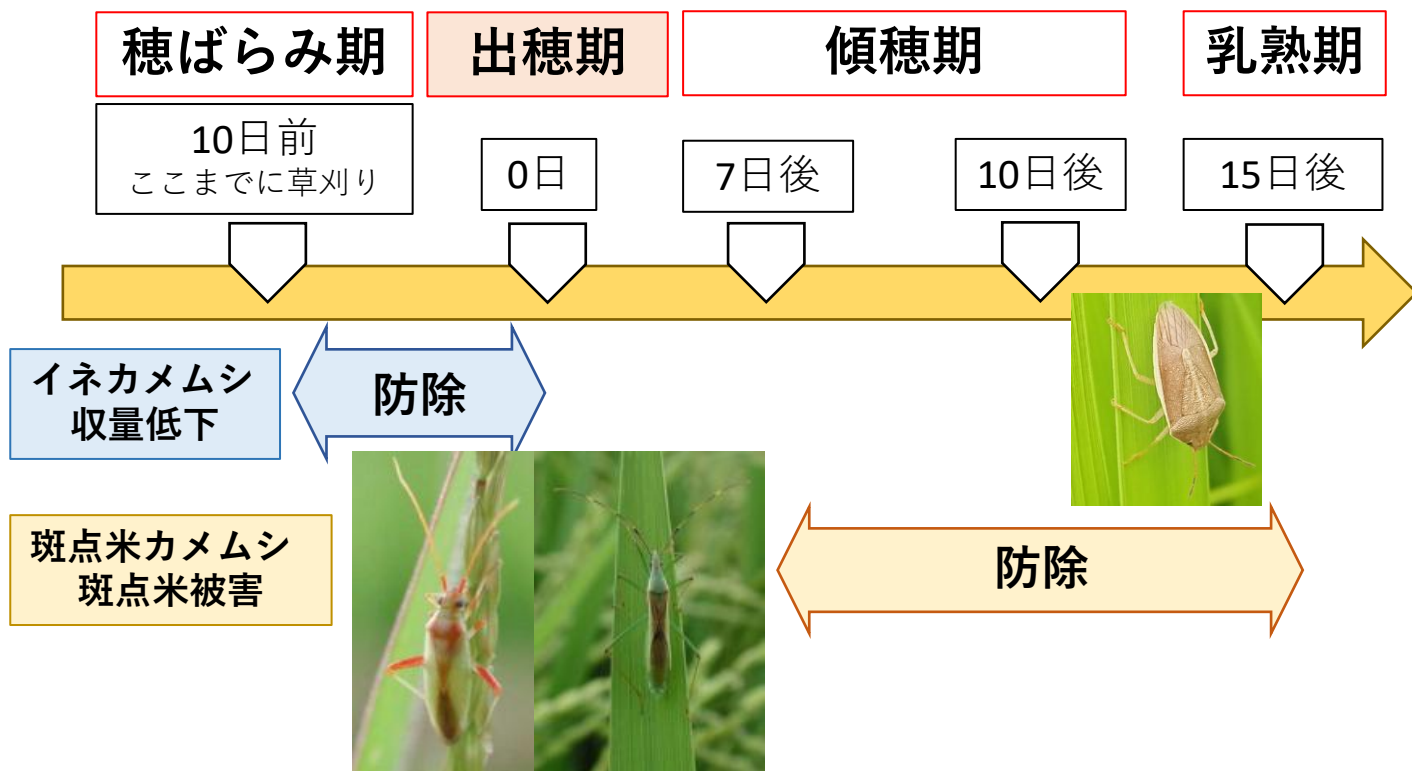
8月の平均気温は、かなり高く、降水量も少ない見込みです。

### 熱中症に注意！

- ・こまめに休憩し、水分・塩分を補給する
- ・高温時の作業は極力避ける
- ・帽子や空調服などの熱中症対策アイテムを活用する。
- ・熱中症が疑われる場合には、直ちに作業を中断し、涼しい場所へ避難する。症状が改善しない場合は病院へ。

## 1. 病虫害防除

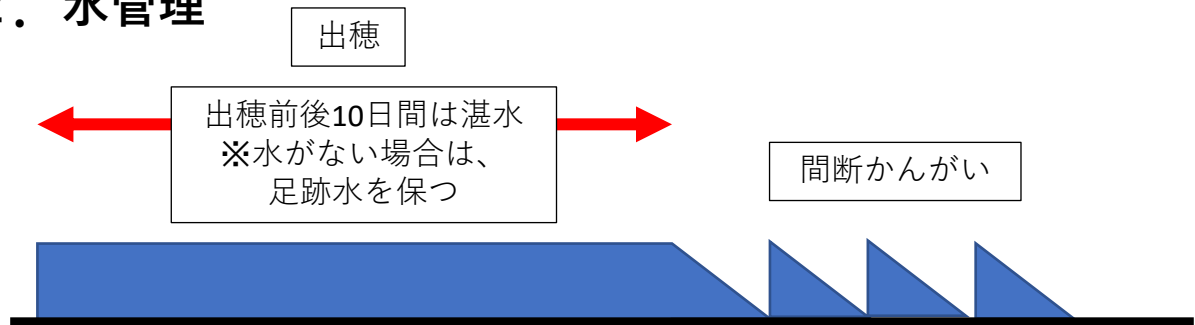
### ◎農薬散布時期



### ◎雑草管理

- ・斑点米カメムシは、イネ科雑草に飛来する
- ・出穂10日前までに、畦畔の草刈りをする
- ※出穂直後の草刈りは逆効果

## 2. 水管理



- ①出穂期の水不足は、乳白粒の発生につながるため、  
出穂前後10日間は、**2～5 cmの浅水で湛水する**
- ②出穂20日後以降は、根の活力を維持するため、  
**間断かんがい（自然に落水→入水）**を行う

## 3. 台風時の対策

### 【台風通過前】

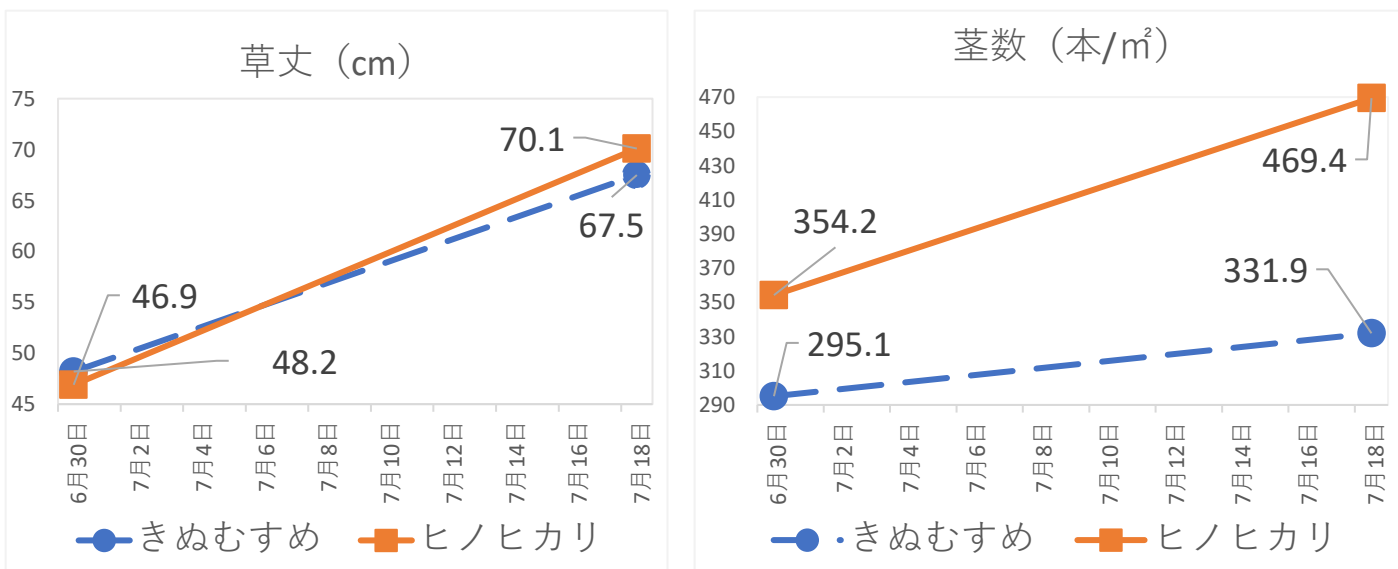
- ①倒伏、乾燥防止のため**深水にする**。
- ②刈取り適期に近い稲は、**早めに刈り取る**。
- ③排水口、排水路を整備する。

### 【台風通過後】

- ①幼穂形成期以降の台風は、稲体が損傷し老化が進む。  
根の活力維持をはかるため、出穂前後であっても湛水せずに  
**間断かんがいを行う**。
- ②台風通過後は病虫害が多発するため、発生状況を確認し、  
**防除を行う**。

## 4. 今までの生育（きぬむすめとヒノヒカリ比較）

場所：木津川市相楽 田植え日：5月30日



※参考（鳥取県資料） きぬむすめ目標穂数 330本/m<sup>2</sup>（栽植密度18～21株/m<sup>2</sup>）  
（京都府資料） ヒノヒカリ目標穂数 369本/m<sup>2</sup>